

うきたむ考古通信

2023年4月号

■発行者 うきたむ考古の会
事務局 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 内
〒992-0302 山形県東置賜郡高島町安久津2117
電話0238-52-2585 Fax 0238-52-4665

訃報

初代館長で当館の名誉館長であった川崎利夫先生が去る3月24日にお亡くなりになりました。川崎先生は当館開館時から12年の長きにわたり館長を務められました。この間、館の展示と各種事業全般にわたり、強い指導力を発揮され、館運営の基礎を作り、その指針を示してくださいました。また、うきたむ考古の会を設立され、多くの会員が集い、学び・楽しむ機会を作ってくださいました。そして、名誉館長に就任されてからも当館事業に率先して参加していただきました。先生のこれまでのご功績に深く感謝すると共に、安らかなご永眠をお祈りいたします。次号の「うきたむ考古」は川崎名誉館長の追悼号として会員の皆様から広く原稿を募ります。

♥令和5年度の館事業運営体制

●令和5年度の考古資料館職員体制が決まりました。3年間勤務した菅野映子事務職員が3月31日付けで退職し、新たに木村由紀子事務職員が4月1日付けで採用となりました。館長（渋谷孝雄）、学芸員（伊藤純子、松本恵美）事務職員（高橋 勉）が昨年に続いて勤務することになります。また、館長代理の水口 哲（高島町教育委員会文化財係長）も継続で、6名体制で5年度事業に臨むこととなりますので、どうぞ、よろしく願いいたします。

令和5年度の館事業について

展 示

●常設展示

変更はありません。

●特別テーマ展

「高瀬山の考古学Ⅱ－弥生時代から中世」

6月10日（土）～9月3日（日）

※山形県内で最も広く発掘調査された寒河江市高瀬山遺跡の調査成果を展示します。

今年度は第2回目として弥生時代から中世の出土品を展示します。

期間中に、関連講座を開講し調査成果と出土品の概要について解説します。

●企画展示

第31回企画展「山形県内の指定文化財－考古資料－」

9月10日（土）～12月4日（日）

山形県内の出土品で国宝・重要文化財、山形県・市町村指定となっている有形文化財（考古資料）を展示します。ただし、個人所有となっているものは一部を除いて除外します。

主な展示品の候補は下記のとおりです。

1 旧石器時代

東山遺跡出土品（新庄市指定）、乱馬堂遺跡出土品（新庄市指定）

2 縄文時代草創期

東山紺野遺跡の黒曜石製石器（小国町指定）

3 縄文時代前期

一ノ坂遺跡出土遺物（米沢市指定）、彩漆土器附彩漆土器残欠（重要文化財・国所有）、山形県押出遺跡出土品（重要文化財・山形県所有）

4 縄文時代中期

土偶附土偶残欠（国宝・山形県所有のレプリカ「縄文の女神」）、山形県水木田遺跡出土品（重要文化財・山形県所有）、注口土器（県指定・大蔵村白須賀遺跡出土山形大学所有）、橋上遺跡出土大珠（大江町指定）、岡山遺跡出土土器・土偶（鶴岡市指定・致道博物館所有）

5 縄文時代後期

人体装飾付土器（県指定・山形県所有）、竹井境土偶（米沢市指定）

6 縄文時代晩期

土偶（最上郡真室川町大字釜淵字五郎前出土）（重要文化財・山形県立博物館のレプリカ）、硬玉類（県指定・致道博物館所有・寄託）、宮内遺跡出土品（新庄市指定）、黒森堀割基盤層発掘石器土器（酒田市指定）

7 弥生時代

弥生式土器(県指定、大蔵村上竹野遺跡出土・接引寺所有(新庄市ふるさと歴史センター寄託・展示中)、弥生土器(県指定・大蔵村上竹野遺跡出土 山形大学所有)、生石2遺跡出土弥生土器(県指定・山形県所有)、石田遺跡出土弥生土器(寒河江市指定)

8 古墳時代

菅沢2号墳出土埴輪(県指定・山形市所有(10月から)、お花山古墳出土品附鉄鏃残欠一括、円筒埴輪残欠(県指定・山形県指定)、上柳渡戸八幡山出土品(県指定・山形大学所有)、羽山古墳出土品(県指定・個人所有(高畠町郷土資料館展示)、土師器埴(河北町指定)、八幡堂遺跡出土紡錘車・紡錘杵・火鑽臼(米沢市指定)

9 奈良時代

円面硯(米沢市西町田下遺跡出土 県指定・山形県所有(当館展示))、円面硯(笹原遺跡出土 米沢市指定)、漆紙文書(大浦B遺跡出土 米沢市指定(写真)、蕨手刀(酒田市指定)

10 平安時代

俵田遺跡祭祀遺構出土品附木製品残欠一括(県指定・山形県所有)、古志田東遺跡出土木製品類(米沢市指定)、城輪柵跡出土品(酒田市指定)、堂の前遺跡出土斗、肘木、田下駄、壺(酒田市指定)、篋描宇瓦(酒田市指定)、高瀬山経塚出土品(寒河江市指定)

11 鎌倉時代

中世陶器(執行坂窯跡出土 鶴岡市指定)、高野坊遺跡出土墨書礫(天童市指定)、中世陶器壺・十文字叩壺(楯ノ腰経塚出土 酒田市指定)

12 室町時代

大南遺跡出土木製品(米沢市指定)

企画展開催中に、考古学セミナー、企画展講演会などの関連企画を実施して理解・関心の向上に努めるとともに、展示図録を刊行します。

●kid' S 考古学新聞コンクール全国巡回展

7月16日(土)～9月22日(金)

令和4年12月1日に審査結果が発表された「第3回 kid' s 考古学新聞」の入賞作品の巡回展です。今年度はロビーでの展示となります。今回も山形県内の児童の入選作はありませんが、力作ぞろいです。ご家族での見学をおすすめいたします。

♥自主事業

👉体験事業

1 「赤ちゃん手形をつくろう」

4月29日(土)～5月7日(日)の9日間開催いたします。前号で事業にお手伝いいただけるボランティアを募集している旨お知らせしましたが、**4月29日(土)、5月1日(月)、2日(火)、6日(土)、7日(日)**が不足していますので、お手伝いいただける会員の皆様のご連絡をお待ちしております。

今年度の目標はコロナ前の1000個以上です。(令和2年度311個、令和3年度448個、令和4年度489個)

4月29日(土・祝日)、5月1日(月)、5月3日(月・祝日)、5月4日(火・祝日)を臨時開館日とし、条例に基づく5月5日(木)の無料開館日の振替えとして5月9日(火)を臨時休館日とします。

※参加申し込みは4月4日(火)から受け付けています。

2 「勾玉・弓矢・石器をつくろう」

5月27日(土)・7月8日(土)・11月3日(金・祝日)

目標 70名(令和4年度67名)

※申し込みは開催日の概ね1ヶ月前からとします。

※11月3日(火・祝日)の無料開館日の振替えとして11月4日(水)を臨時休館日とします。

3 「ガラス玉をつくろう」

6月10日(土)・11月25日(土) 目標 20組(令和4年度20組)

4 「コースターをつくろう」(簡易織機、あんぎん台使用)

6月17日(土)・12月2日(土) 目標 6名(令和3年度2名)

5 「古代風ブレスレットをつくろう」

6月17日(土)・12月2日(土) 目標 10名(令和4年度24名)

6 「大人の自由研究1ーカラムシから繊維をとって、織物をつくろうー」

7月15日(土) 目標 3名(令和4年度0名)

7 「大人の自由研究2ー塩引きをつくろうー」

11月26日、12月3日、10日の各日曜 募集各日6名 目標18名(令和4年度14名)



研修事業



県内外の遺跡や資料館をめぐることで、遺跡や考古資料への関心・理解を深めて頂きます。

1 春の遺跡めぐり 5月28日(日) 遊佐町の遺跡と文化財

三崎山A遺跡、国指定名勝「おくのほそ道の風景地 三崎山」水林下遺跡、国指定史跡鳥海山吹浦口の宮、県指定史跡吹浦遺跡、国指定史跡小山崎遺跡、永泉寺(県指定石造九重層塔、ハリモミ)、町指定史跡大楯遺跡、杉沢A遺跡、国指定史跡鳥海山蕨岡口の宮、遊佐町埋蔵文化財調査室、重要文化財青山家住宅

2 みる・きく・ふれる遺跡の旅 6月24日(土)～25日(日)

コロナで3年間中止せざるを得ませんでした。今年度、再開したいと思います。参加人数が少ない場合はレンタカーも考慮します。栃木県中南部を予定

3 秋の遺跡めぐり 10月22日(日) 大崎市の遺跡と文化財

国指定史跡木戸瓦窯跡・宮沢遺跡・名生館官衙遺跡・山畑横穴群・旧有備館及び庭園・中沢目貝塚等。



考古学への関心の裾野を広げる事業を行います

● 関連講座「高瀬山の考古学Ⅱ」を開催。

特別テーマ展に展示する資料や検出された隣接地を含む遺構と遺構について7月の日曜日に2回に分けて解説・説明していただきます。

第1回(7月2日(日))

・弥生時代から古墳時代の高瀬山遺跡

(公財)山形県埋蔵文化財センター 植松 暁彦氏

第2回(7月11日(日))

・古代から中世の高瀬山遺跡

(公財)山形県埋蔵文化財センター 渡辺 和行氏

● 第25期考古学セミナー

企画展のテーマに沿った考古学セミナーを開講し、企画展の展示資料について理解を深めて頂くことを狙いとします。講座のテーマは「山形県の指定文化財と出土遺跡」です。

第1回(9月24日(日))

・旧石器時代・縄文時代草創期の指定文化財と関連遺跡

考古資料館館長

渋谷孝雄

- ・縄文時代の指定文化財と関連遺跡

(公財)山形県埋蔵文化財センター

小林 圭一氏

第2回(10月1日(日))

- ・弥生時代の指定文化財と関連遺跡

(公財)山形県埋蔵文化財センター

菅原 哲文氏

- ・古墳時代の指定文化財と関連遺跡

(公財)山形県埋蔵文化財センター

草野 潤平氏

第3回(10月9日(日))

- ・奈良～平安時代の指定文化財と関連遺跡

(公財)山形県埋蔵文化財センター

植松 暁彦氏

- ・鎌倉・室町時代の指定文化財と関連遺跡

(公財)山形県埋蔵文化財センター

高桑 登氏

● 企画展講演会

11月12日(日)

演 題 「山形県の指定文化財－考古資料－について」

(公財)山形県埋蔵文化財センター事務局長

山形県文化財保護審議会委員

高桑 弘美氏

● 出前講座

依頼があった場合は適宜対応します。

- (1) 講演会等の講師要請に対しては、館長・学芸員による出前講座を実施します。
- (2) 体験学習等の講師要請に対しては、学芸員・館職員による出前講座を実施します。

● 各種団体との連携事業

- 1 「うきたむ風土記の丘考古資料館自主事業委員会」との連携。
- 2 「うきたむ考古の会」共催事業として遺跡の旅を行う他、他事業においても連携を取ります。
- 3 「うきたむ学講座実行委員会」との共催事業として「うきたむ学講座」の開催を検討します(令和元～4年度は中止)。

①うきたむ学講座 全3回(テーマ未定)

- 4 「山形考古学会」共催事業として山形の考古資料検討会を実施します。
- 5 考古学関連の講演会やシンポジウムの共催等に随時対応します。
- 6 「東北文化の日」に協賛します。

♥博学連携事業

●授業・行事での利用

- 1 利用の申し出があった場合は、事前に打ち合わせの上（利用打合せ書の提出）、見学・体験学習（出前講座含む）を実施します。
 - ① 見 学 館内展示、歴史公園の復元住居・古墳、周辺の遺跡等。
 - ② 体験学習 縄文服着用、火おこし、弓矢・石器・勾玉・ブレスレット・布作り。
- 2 各事業内容について適宜見直しを行い、授業や行事に取り入れやすいよう工夫する。

●夏休み中の事業(実施を検討中)

小中学生を対象とした事業を行う（夏休み前に町内の小中学校にチラシを配布）。

1 1日体験学習「スクールオブジョウモン」

- (1) 目的 様々な縄文体験を通じ考古学に対する興味を持ち、自由研究等にも役立てる。
- (2) 日時 8月19日（土）。
- (3) 対象 小学生 10名程度（令和元～4年年度は開催せず）。
- (4) 内容 弓矢の的当て、石器づくり見学・石器で野菜を切る、火おこし（調理）、縄文原体を生地に押しつけ土器片形クッキー（ドッキー）をつくる、館内見学。

2 自由研究相談(夏休み期間中随時)

●教育目的に沿った中学・高校・大学の団体見学の受け入れ

より深い学びの場としての当館利用の促進を図ります。

●その他

教育関連団体ほか、各種団体に会場を提供するなど、学校教育・社会教育関係者との情報交換を密にします。

♥印刷物の発行

1. 館報 6月発行(第61号)・12月発行(第62号)。
2. 年報 令和5年3月発行。
3. 企画展図録 9月発行(ポスター・チラシは8月に配布)。
4. 催し物案内 令和5年3月発行。
5. 各事業案内チラシ等 随時。

♥調査相談・借用依頼対応

当館所蔵資料の借用、利用依頼に対して随時対応する。所蔵以外の資料についても、調べたり相談先を紹介したりするなどして、できる範囲で対応する。

東北情報館



特別展 『上杉景勝と関ヶ原合戦（前期）』

入館料 一般／700円 高・大生／300円 中学生以下／無料

4月22日～5月21日 伝国の杜 米沢市上杉博物館 TEL: 0238-26-8001



山形大学ナスカ研究所の10年展 『地上絵の謎と保護』

入館無料

3月15日～5月12日 山形大学附属博物館 TEL: 023-628-4930



東日本大震災復興祈念 『悠久の絆 奈良・東北のみほとけ展』

入館料 一般／1700円 大学生／1400円 小中高生／850円

4月15日～6月11日 東北歴史博物館 TEL: 022-368-0106



酒井家庄内入部 400年記念特別展 『藩祖酒井忠勝』

入館料 一般／800円 高・大生／400円 小中生／300円

9月10日～10月31日 致道博物館 TEL: 0235-22-1199



第40回埋蔵文化財調査資料展 『盛岡を発掘する

—令和4年度調査速報—』

入館料 一般／200円 小中学生／100円

2月4日～5月21日 盛岡市遺跡の学び館 TEL: 019-635-6600



第40回全国都市緑化仙台フェア開催記念

『伊達政宗と杜の都仙台—仙台市博物館の名品—』

入館料 一般／800円 学生／400円 小中高生／無料

4月26日～6月18日 宮城県美術館 TEL: 022-221-2111



令和5年度企画展 『御所野台地の遺跡群～下堤F遺跡～』

入館無料 4月1日～11月30日 御所野弥生っこ村 TEL: 018-888-5607